
CDP 2024 コーポレートSME版質問書 スコアリングイントロダクション



バージョン管理

バージョン	公開日	改訂の概要
1.0	2024年6月29日	最初のバージョン

内容

CDP2024コーポレートSME版質問書 スコアリングイントロダクション	1
バージョン管理.....	2
イントロダクション	5
スコアリング原則.....	5
回答スコアリング.....	5
その他のスコアリング資料.....	5
SME版質問書のスコアリング.....	6
コーポレート完全版とコーポレートSME版質問書.....	6
コーポレートSME版質問書の構成.....	6
スコアリングのアプローチ	7
レベル毎のスコアリング	7
SME情報開示	7
SME認識.....	7
SMEマネジメント.....	7
SMEリーダーシップ.....	7
最終スコアの配分	7
スコアレベル毎のスコアの算出方法	7
最終スコアの算出方法.....	8
無回答と回答遅延	8
スコアリング基準の理解.....	9
基準の構造.....	9
スコアリングのアプローチ.....	9
比例配分を用いたスコアリング	10
ベスト・ロウ・スコアリング(最も高得点となる回答行をスコアリングする).....	10
集約された質問書におけるスコアリングのアプローチ.....	10
回答ルート	11
他の質問との照合	11
スコアに関する免責事項.....	12
フィードバックおよびお問い合わせ先.....	12

附属文書 I - 利益相反に関するポリシー	13
回答のスコアリングにおける利益相反に関するポリシー	13
スコアリング基準作成	13
スコアリングプロセス.....	13
スコアに影響を及ぼす資金提供および行動の制限	14

イントロダクション

スコアリング原則

CDP のミッションは、市場原理/市場関係者と協働し、組織に環境や天然資源への影響を開示して悪影響を低減するための行動を起こすことを促進し、そのためのビジネスケースを強調することです。最終的に、スコアリングは、CDP への開示を通じて組織が環境への影響を測定し、管理することを奨励する役割を果たします。

CDP は、質問書の各質問にスコアを付ける方法を詳細に規定したスコアリング基準に照らして回答者を評価することでスコアリングを行い、回答組織の環境スチュワードシップに対する進捗状況を評価します。

スコアリング基準では、回答内容の詳述の度合いや、環境課題への認識の度合いを評価します。CDP は透明性を高めるために、スコアリング基準をオンライン上で公開しています。

回答スコアリング

CDP のスコアリングパートナーは、各回答組織がCDP に回答した回答内容に基づいてスコアリングを行います。CDPは、個々の組織の回答に記載された情報を検証することはありません。スコアリング基準に特別に記載がない限りは、CDP への回答以外から得られる情報を、スコアリング過程で考慮することはありません。組織のウェブサイトやレポートなどの外部情報をスコアリングの際に考慮することはありません。CDP 回答で提供される Web リンクまたは添付ファイルも、スコアリング基準で特に要求されない限り、スコアリングの対象にはなりません。

回答組織は、回答内容を一般公開するか否かに関わらず、CDP で回答した内容は、回答要請組織に共有されることについてご理解ください。そのため、自社の現在の状況を可能な限り反映した完全で正確な情報を回答するようにお願いします。

その他のスコアリング資料

この文書は、CDP 2024 SME版スコアリング基準、CDP2024 SME版質問書、CDP2024 SME版報告ガイダンスと併せて活用いただきますようよろしくお願いいたします。報告ガイダンスでは各質問を回答する際に回答に含めていただきたい要素を説明しています。

スコアリング基準は、回答組織がこのガイダンスに沿って回答データを提供することに基づき機能するため、報告ガイダンスに記載されている指示に従ってデータを報告することが重要です。

SME版質問書のスコアリング

コーポレート完全版とコーポレートSME版質問書

2024年、CDPIは中小企業(SME)向けに最適化された質問書を導入します。SME版質問書は、これまでのサイクルにおけるコーポレート簡易版質問書や、2023年のSME版質問書のパイロット版に代わるものです。これにより、中小企業は、その組織規模に適した、合理化され簡素化された質問を通じて情報開示できるようになります。このためCDPIは、コーポレート完全版質問書とSME版質問書の2種類の企業向けの質問書を用意しています。

SME 質問書は中小企業のニーズに合わせて調整されており、データポイントが少なく簡素化されています。CDP の中小企業資格基準を満たす組織のみが、SME版質問書に回答することができます。2024 年は気候変動に重点が置かれ、フォレストとウォーターに関する統合データポイントが組み込まれ、これらの環境課題に関する情報開示の取り組みが開始されます。SME版質問書は主に2024年の気候変動に焦点を当てていますが、CDPの情報開示者とデータ利用者には、環境リスクと機会を相互に関連する課題として評価し、管理することを推奨します。2024 年の SME 版質問書では気候変動のみがスコアリング対象となり、フォレストとウォーターはスコアリング対象となりません。

本書では、SME版質問書のみを対象としたスコアリングの概要を説明します。コーポレート完全版質問書のスコアリングについては、コーポレート完全版質問書のスコアリングイントロダクションをご参照ください。

コーポレートSME版質問書の構成

SME版質問書には8つのモジュール(モジュール14~21と表示)があります。モジュール14~19 および 21は複数の環境課題が集約されています。モジュール20は、気候変動の環境課題に特化しています。コーポレート完全版質問書とは異なり、SME版質問書は、2024年には気候変動の環境課題についてのみスコアリングされます。

全ての開示者に対し、気候変動に関するデータポイントが提示されます。フォレストとウォーターに関する補足的なデータポイントは、開示者がこれらの環境課題に関する報告を求められた場合、または報告に同意した場合にのみ提示されますが、これらの質問は 2024 年には採点されません。

コーポレート完全版質問書とは異なり、SME版質問書に回答する組織には、セクター固有のデータポイントは提示されません。

スコアリングのアプローチ

レベル毎のスコアリング

回答組織は、環境スチュワードシップに向けた進捗を示す以下の4つのレベルで評価が行われ、どの段階にあるのかが示されます。4つのレベルとは、SME情報開示、SME認識、SMEマネジメント、SMEリーダーシップと呼びます。2024年においては、SME情報開示、SME認識、SMEマネジメントの各レベルでスコアリングされます。

SME情報開示

SME情報開示スコアは、組織の報告の完全性を測定しています。各質問に割り当てられる点数は、要求されたデータ量とデータ利用者にとっての相対的な重要性の両方に依存します。

SME認識

SME認識スコアは、環境課題が事業とどのように関連するかについての中小企業の評価の包括性を示しています。認識スコアは、組織が初歩的なスクリーニングや評価を超えて環境課題に対処するための行動をとったことを示すものではありません。

SMEマネジメント

SMEマネジメントポイントは、組織が環境課題に与える影響を認識した上で、良好な環境管理に関連する行動の根拠を提供する回答に対して付与されます。SMEマネジメントは、環境課題とその環境への影響に対処するために必要な情報開示と透明性について、中小企業が理解を示しているかどうかを測定しています。その分野のリーダーとしての地位を確立する行動を組織が行っているかどうかを示すものではありません。

SMEリーダーシップ

2024年には、SMEリーダーシップはスコアリングされません。この初年度に収集されたデータにより、今後、中小企業にとって意味のあるリーダーシップのスコアリングを開発し、展開します。

最終スコアの配分

スコアレベル毎のスコアの算出方法

回答組織が所定の環境課題分野のスコアリング基準に対して評価されると、スコアリングレベルごとに最終的なパーセンテージスコアが算出されます。SME 情報開示およびSME認識のスコアリングレベルでは、獲得可能なポイント数のうち付与されたポイント数の単純なパーセンテージが計算されます。SMEマネジメントのスコアリングレベルについては、加重パーセンテージが計算されます。

SME版質問書内のスコアリング対象となるすべての質問は、スコアリングカテゴリーに割り当てられます。各カテゴリーの重み付けは、全体のスコアにおけるセクターの相対的な重要性を反映しています。

重み付けは、スコアリングカテゴリーごとにSMEマネジメントのスコアを算出することによって適用されます（分子/分母 * 100）。これらのパーセンテージベースのスコアは、カテゴリーの重み付けに対する達成ポイントの割合を算出することによって、レベルごとのカテゴリースコアに変換されます: カテゴリーの重み付け (%) / 100 * SMEマネジメントスコア (%)。各レベルのスコアカテゴリーが合算され、レベルごとの総合最終スコアを算出します。CDPのカテゴリーと各環境課題分野の重み付けの詳細については、2024年のカテゴリーと重み付けの文書を参照してください。

最終スコアの算出方法

回答組織には、採点された環境課題分野ごとに、SME- Bから SME- D までの最終スコアが割り当てられます。2024年においては、SMEリーダーシップレベルがスコアリング対象外となるため、SME- Aスコアは提供されません。

質問書の全ての分野にわたる完全な報告および一貫した進捗報告を促進するには、回答組織が次のスコアレベルが付与される前に、その下のスコアレベルで最低要件を満たす必要があります。これは閾値システムによって達成され、あるレベルで最低スコアを獲得すると、その上のスコアリングレベルに移行することができます。スコアの閾値が達成されない場合、組織の最終スコアは下のレベルに留まります。このアプローチにより、一部の分野にだけ特化して優れていて他の分野のパフォーマンスが不十分であるという状態を抑制することができます。

CDP はスコアリングレベル間の移行に必要な閾値を暫定的に設定し、スコアリング期間中に、スコアリングレベル間の回答の分布が回答の現在の進捗レベルを代表するよう、見直します。CDP は、スコアリリース前のいかなる時点においても、これらの閾値を調整する権利を留保します。

レベル	気候変動	スコアバンド
SME 情報開示	1-79%	SME- D
SME 認識	1-79%	SME- C
SME マネジメント	1-100%	SME- B
SME リーダーシップ	スコアリング 対象外	SME- A

* 2024年は、SMEリーダーシップレベルはスコアリング対象外です。CDPIは今後SMEリーダーシップレベルにも拡大していく予定です。

無回答と回答遅延

CDPから回答要請を受けている全ての組織が回答を提出している訳ではありません。回答要請を受けているものの、無回答である場合は、CDPが評価する上で十分な情報を提供できなかったことを示す Fのスコアとなります。スコアリングの締め切りを過ぎたあとにCDPに回答した場合には、スコアは付与されず、“not scored”と表示されます。

スコアリング基準の理解

基準の構造

スコアリング基準は、各質問について、スコアレベルのそれぞれの具体的な採点基準と、その質問の配点の詳細を示す表を提供します。採点基準では、そのスコアレベルでポイントを獲得するために、どのような条件を満たす必要があるのかを詳しく説明しています。配点表は、各スコアレベルで達成可能な最大ポイントを示しています。

配点表はレベルごとに「得点(numerator)」と「配点(denominator)」の欄が設定されています。得点欄は、各スコアレベルで得点可能なポイントのうち、獲得できるポイントを示しています。得点(numerator)と配点(denominator)は通常は同じですが、得点(numerator)が配点(denominator)より小さい場合は、回答者がそのレベルに定められたすべての基準を満たしていても、得点可能なすべてのポイントを獲得することはできないことを示します。場合によっては、得点(numerator)と配点(denominator)の欄で得点可能なポイントが異なることがあり、これは基準内で適用される回答ルートによって獲得できるポイントが異なることを示しています。

各質問のスコアリングには、質問に対する回答として提供された情報のみが利用されます。他の質問で提供された回答の参照は、スコアリング基準で指定されている場合を除き、スコアリングプロセスの一部として考慮されません。

無回答の質問は、その質問または一連の質問の最大の配点に対して 0 点の得点となります。特定の重要なデータポイントの場合、無回答の質問には、その質問で得点可能な最大ポイントよりも大きい配点に対して 0 点の得点となる場合もあります。これらの重要なデータポイントはスコアリング基準で特定の回答ルート(「非開示ルート」と表示)で強調されています。

スコアリングのアプローチ

CDP のSME版質問書には複数の質問ルートがあるため、回答者全員が同じ質問を目にするわけではありません。選択形式の質問において、どの選択肢を選択するかで後に続く質問が異なり、配点の合計は異なってきます。多くの場合、“Yes”を選択した組織の方が、“No”を選択した組織よりも、より大きい配点になります。このように異なる質問のルートがスコアに影響しないよう、スコアは正規化されてパーセントの値で表示されます。最終スコアは、獲得した得点の合計を回答すべき全ての質問の配点の合計で除して計算します。質問内容が自社に該当せず、より少ない質問数しか提示されない場合であっても、その組織は評価上不利になることはありません。

ポイントを付与する方法は質問ごとに異なり、回答企業は回答を準備する際にスコアリング基準を詳しくチェックして、得点の割り当て方法を理解することをお勧めします。

いくつかの質問では、与えられた各データポイントにつき、その質問で得点可能な最大ポイントまで、ポイントまたはポイントの一部が累積的に与えられます。その他の質問では、ポイントが付与されるためには、要求された全てのデータポイントを提供する必要があります。後者の場合、回答欄を空白のままにしたり、必要なデータポイントを提供しなかったりすると、その質問の得点は 0 ポイントとなります。

表形式で複数の列の回答が求められるようなケースにおいては、いくつかのスコアリングの形式があります。すべての回答欄への記入がなされていないと得点とならない場合もありますが、最高スコアとなる回答のみが得点に採用される場合もあります。

比例配分を用いたスコアリング

回答において開示されたデータの数に比例してポイントが与えられる場合もあります。このスコアリングアプローチは、報告された情報量が回答企業によって異なる可能性のある質問で使用されます。比例配分は、表で提供された情報量に比例してポイントを与えることにより、開示されたすべての行の詳細な報告を促すものです。ポイントは、表内で記入された個々のセルの数に比例して、または表内で記入された行の数に比例して与えることができます。スコアリング基準には、様々なタイプの比例配分(セルごと、行ごと)があり、下表にまとめています。

比例配分を用いたスコアリングの種類	スコアリング基準
表中に記入したセルの数に比例してスコアを配分。1行のみスコアリングされる場合もあれば、複数行がスコアリングされる場合もあります。	表示されたセルの数に比例してポイントが与えられます。この質問では、最大Xポイントが与えられます。
開示された行の数に対して、記入したセルの数に比例してスコアを配分。すべてのセルが完成していない行に関しては、満点とはなりません。	開示された行数に比例して得点が与えられません。部分的に記入された行には満点は与えられません。この質問では最大Xポイントが与えられます。
開示された行の数に対して、行数で比例してスコアを配分。すべてのセルが完成していない行に関しては、ポイントが与えられません。	開示された行の数に比例してポイントが与えられます。部分的に記入された行にはポイントは与えられません。この質問では最大Xポイントが与えられます。

ベスト・ロウ・スコアリング(最も高得点となる回答行をスコアリングする)

一つの質問に対して複数の行で回答する場合、1行のデータのみがスコアとして考慮されることがあります。このスコアリングアプローチにより、企業は回答が十分でない場合や、詳述したすべての行動がスコアリング基準に定められたベストプラクティスを満たしていない場合でも、質問に対して包括的な回答を提供できます。そのため、ベスト・ロウ・スコアリングは通常、行動、プロセス、または目標の記述が1つの説明で十分な場合に使用されます。

ベスト・ロウ・スコアリングのアプローチは、スコアリング基準では「1行採点」と表記されます。これらの設問では、すべてのスコアリングレベルで最高スコアを獲得した行の得点に応じてスコアが与えられます。各スコアレベルは連続的に評価されます。例えば、SME情報開示レベルおよびSME認識レベルで満点を取得し、SMEマネジメントレベルで0点の行は、SME情報開示レベルで部分点を取得し、SME認識レベルで満点を取得した行よりも高いスコアとみなされます。

集約された質問書におけるスコアリングのアプローチ

現在、企業は1回の情報開示で複数の環境課題に関するデータを提供できます。しかし、2024年の中小企業において気候変動分野のみがスコアリングの対象となります。複数の環境課題に関するデータを求める設問における開示およびスコアリングのアプローチは、各設問の構成と求められるデータによって異なります。

環境課題が集約されたモジュール内の多くの質問では、各環境課題分野におけるデータを別々の行で開示するよう企業に求めています。2024年のSME版質問書では、「気候変動」の

行に提供されたデータのみがスコアリングの対象となります。

一部の設問では、企業は定義された欄において関連する環境問題を選び、それに応じて各環境問題分野に関連するデータの行を決める必要があります。ここでは、定義された欄において、「気候変動」が関連項目として選択されている行のみがスコアリング対象となります。どの行に関しても「気候変動」を選定しなかった場合、その回答はスコアリングの対象外となり、質問における非開示のペナルティを受ける可能性があります。

集約されたモジュール内の他の質問では、提供されたすべてのデータが開示されているすべての環境課題について評価されます。これにより、企業の回答がすべての環境課題で一貫している可能性が高まり、複数の環境課題をまとめて報告する際の負担が軽減されます。また、これらの設問では、提供されたすべての内容がSME版質問書において、「気候変動」の環境課題の一部としてスコアリングされます。

各企業は、CDPのSME版報告ガイダンスで、各質問の具体的な構成を十分に確認することが推奨されます。これにより、各質問に対する回答が確実に評価されるようになります。

回答ルート

質問のスコアリング基準は、個別の回答ルートにまとめられている場合があります。これらの回答ルートは、企業の回答やその後のデータポイントに基づいて、企業がどのようにスコアリングされるかを詳述しています。例えば、ある質問に対して企業が「はい」と回答した場合と「いいえ」と回答した場合では、異なる回答ルートが適用されます。また、環境課題が集約された質問書の中で特定の環境課題にのみ回答した場合、各環境課題をどのように扱うかを示すために回答ルートを使用することもできます。

他の質問との照合

スコアリング全体を通じて、スコアリング基準は関連する設問における企業のスコアや回答とリンクしています。例えば、ある設問でスコアを獲得することが、別の設問でスコアを獲得するための前提条件となることがあります。クロスチェックは、企業の回答の一貫性を確保するためのスコアリングメカニズムとして用いられます。

スコアに関する免責事項

CDPスコアは、CDPの回答で開示された情報に基づいています。このスコアは、企業の持続可能性や「グリーン」のレベルを示す包括的な指標ではなく、環境フットプリントに関する特定の指標でもありません。むしろ、企業が報告年度に提供した環境問題に関する情報開示のレベルを示すものです。

CDPの2024年のスコアリング基準はまだ進化の過程にあります。スコアリング基準は、回答企業に今年はどうのようにスコアが与えられるのかを示すために公表されています。CDPは、最新のリスクマネジメント戦略やベストプラクティス、回答データの質、またはスコアリングの結果に基づいて、スコアリング期間前および期間中に基準や質問のウェイトを調整する権利を留保しています。

フィードバックおよびお問い合わせ先

スコアフィードバックに関する情報、CDPのスコアリング基準へのご意見、または一般的なご質問がある場合は、CDPヘルプセンター([英語](#) / [日本語](#))からお問い合わせください。

付属文書I - 利益相反に関するポリシー

回答のスコアリングにおける利益相反に関するポリシー

高品質の情報を提供する独立した公平なプロバイダーとしてのCDPの評価を維持することは、最も重要なことです。したがって、CDPは、質問書に回答した企業に与えるスコアの正確性に影響を及ぼす可能性のある利害の対立のリスクを最小限に抑えるために、この方針を採用しています。

スコアリング基準作成

1. CDPのスコアリングチームは、CDPの使命を推進し、環境問題に関する科学的知識を踏まえ、回答企業を公正に評価する方法でCDPスコアリング基準を作成する責任を負っています。スコアリングチームは、これらの要素を総合的に考慮し、独立した判断を行う必要があります。また、利益相反の可能性を最小限に抑えるため、スコアリングチームは企業との恒常的な関係に参与しないようにしています。

スコアリングプロセス

2. CDPのスコアリングチームは、スコアリングプロセスの監督、スコアリングパートナー(下記4項で定義)のトレーニング、そして公表前のスコアリングの検証に関する監督を行います。スコアリングチームは、CDPの他のスタッフに協力を求めることができます(例えば、添付ファイルを翻訳し、特定の基準を満たしているかどうかをチェックするため)、スタッフには公表前の回答やスコアへのアクセスは許可されず、すべてのスタッフは常に下記第7項の禁止事項を遵守します。
3. 回答企業から提出された質問書への回答は、回答企業またはCDPスタッフの指示があった場合のみ修正することができます。
4. CDPに代わって回答をスコアリングする機関(スコアリングパートナー)は、CDPの承認を受けなければならない、CDPのトレーニングプログラムを無事に修了し、CDPのスコアリング基準が一貫して適用されるよう、内部クオリティ・アシュアランス・プロセスを導入し、公表前に最終的な品質保証のためにCDPに得点を提出しなければなりません。スコア公表前の最終確認のために、CDPにスコアを提出する必要があります。

5. スコアリングパートナーは、回答企業がスポンサー、顧客、または競合他社であるかに関係なく、すべての回答者を公平に扱う必要があります。それゆえに、
 - a. スコアリング開始前に、スコアリングパートナーは、スコアリングを依頼された企業のサンプルにスポンサー、顧客、または競合他社が含まれているかどうか、また、サンプル内の企業に回答書作成支援や「回答書のチェック」サービスを提供しているかどうかをCDPに開示しなければなりません。
 - b. スコアリングパートナーが回答企業の回答書作成を支援した場合、または「回答書チェック」サービスを提供した場合、その企業は別のスコアリングパートナーによって採点されます。
 - c. スコアリングパートナーが、その客観性に影響を及ぼす可能性のある他の立場や関係で回答企業と協働している場合、CDPはそのような回答のすべてまたは一部を品質チェックします。
 - d. スコアリングパートナーの公平性に疑問がある場合、CDPはそのスコアリングパートナーのスコアに追加の品質チェックを行うか、該当企業が別のスコアリングパートナーによってスコアリングされるよう手配します。
 - e. CDPは、スコアリングパートナーがスコアリングへのアプローチにおいて公平でないことを発見した場合、直ちにそのスコアリングパートナーとの関係を終了し、影響を受けたスコアをチェックし、修正します。

スコアに影響を及ぼす資金提供および行動の制限

6. CDPとそのスコアリングパートナーは、スコアの決定に影響を与えることを目的とした資金提供を受けません。これは、助成金、スポンサーシップ、サービスの販売、その他の収入にも同様に適用されます。
7. CDPのスタッフまたはトラスティーのいかなるメンバーも、個人的な利益のために回答を修正したり、スコアリング基準やスコアリング結果に影響を与えたり、他者を支援したりしようとした場合は、重大な不正行為とみなされ、報酬なしで即時解雇されます。